

## 試合結果

7月3日(木) 対立教新座高校		
第1試合	7対5	勝利
7月5日(土) 対与野高校		
第1試合	5対0	勝利
7月6日(日) 対越ヶ谷高校		
第1試合	3対5	敗退
第2試合	途中まで	
今季通算成績	26勝 10敗 1分	

## 隙・ゆとり=こころの状態

隙だらけだな・・・

恥ずかしい話ですが、先日部員全員でバス遠征した際、1年生部員2名が弁当箱を忘れるというミスを犯しました(1人は帰りのバス車内、もう1人は相手校に)。時期が時期(食品が腐りやすい)だけに、バスの運転手さんや相手校先生方に変な迷惑をかける形になってしまいました。すいませんでした。

話は変わりますが、7月1～3日、プロ野球セ・リーグでは、阪神対巨人の3連戦が行われ、阪神が3連勝という結果になりました(すべて1点差、2対1、1対0、3対2)。ヒットの本数や得点チャンスなどは3試合とも巨人の方が多かったと思いますが、あせりや余裕のなさがこのような結果につながったように感じました。

「こころの状態」、(勝負事において)これは大切ですね・・・隙があるのは当然ダメですが、ゆとりがなく自分で精一杯というような状態も厳しい・・・

見えない・・・数値にならない・・・

そんな力で勝利に近づきたいと思います。

## (北村の代) 練習試合を終える

この代の予定されていた練習試合をすべて終えました。関係者の皆さん、ご協力ありがとうございました。3年生の選手が6名と少ない代でしたが、例年通りの練習試合数を行うことができました。3年生部員の皆さん、区切りの時に大切なのは「感謝の心」を持つこと、君達は試合をするのに必要な部員、9名がいない代でした。下級生部員が出場することで試合が成り立っていたのです(下級生部員への感謝、大丈夫ですか?)。また、少ない部員数ということで、例年以上に保護者や指導者の厚いサポートがあったのではないのでしょうか(保護者の方に人間フェンスをよくしていただきましたね・・・これ、他校ではなかなか見られない光景ですよ・笑)。忘れないで(感謝して)欲しいと思います。

シンプルな言い方になりますが、3年生には「最後の夏までよく頑張った」という言葉を送ります。野球も人生も同じ(自分にとって良いこともあるし、良くないこともある)。(野球も人生も)その1つ1つに対して言い訳をしたり逃げたりしても何の解決にもなりません(=向き合わなければならない)。野球に対して逃げなかったことが今後の人生で間違いなく活きると思います。(最後の夏がどのような結果になっても)今後の人生、自信を持ち、胸を張って生きていって下さい。

冷めた言い方で申し訳ありませんが、優勝して甲子園大会に出場する高校以外の3年生部員は皆、7月中旬に引退することになります・・・であるならば、残された期間を堂々と過ごした方がいいです。変な緊張をすることなく、最後の夏を過ごして欲しいと思います。

埼玉県大会は9日開幕、  
市高は12日初戦になります。